

日タイ地方行政ジョイントセミナー 2018.7.5~6

総合計画策定過程における住民参加

小田原市企画部企画政策課 加藤和永

◆ おだわらTRYプラン(総合計画)とは何か

- 総合計画とは
- おだわらTRYプランの体系
- 実現したい状態
- 取組事例

◆ 策定プロセスにおける市民参画

- 地域別計画の策定
- おだわらTRYフォーラム
- シナリオ・プランニング(職員の主体的関与)

◆ 実践としての無尽蔵プロジェクトの展開

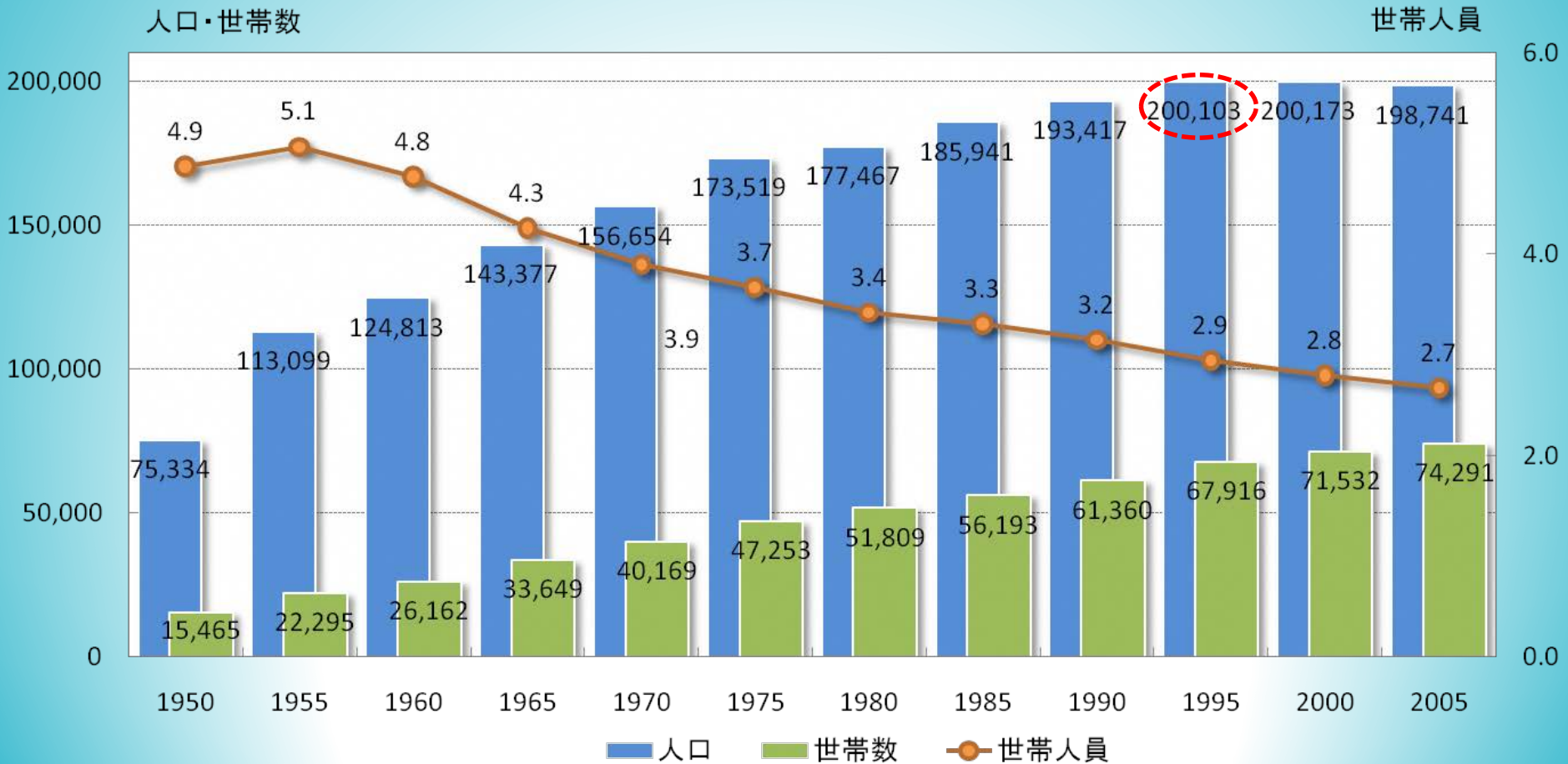
小田原市の紹介

- 神奈川県西部の中心都市
(東京から新幹線で35分)
- 人口: 19.2万人
- 面積: 約114 km²



小田原市の紹介

小田原市の人口は、1995年の約20万人をピークに減少傾向にあり、少子高齢化が進展している



おだわらTRYプラン(総合計画)とは何か

総合計画とは
おだわらTRYプランの体系
実現したい状態
取組事例

総合計画とは

地方自治体が総合的かつ計画的な行政運営を行なっていくための基本となる計画

※ 地方自治法第2条第4項により基本構想の策定が義務付けられていたが、2011年の法改正により、現在、策定義務はない。

第5次小田原市総合計画「おだわらTRYプラン」2011～2022年度



前期基本計画（2011～16）



後期基本計画（2017～22）

小田原市の総合計画は、基本構想(政策)、基本計画(施策)、実施計画(事業)の3層の体系

将来都市像

「市民の力で未来を拓く希望のまち」

基本構想

まちづくりにおける基本理念や目標と、これを実現するための**政策**の方向を示しています

後期基本計画

9つの重点テーマ

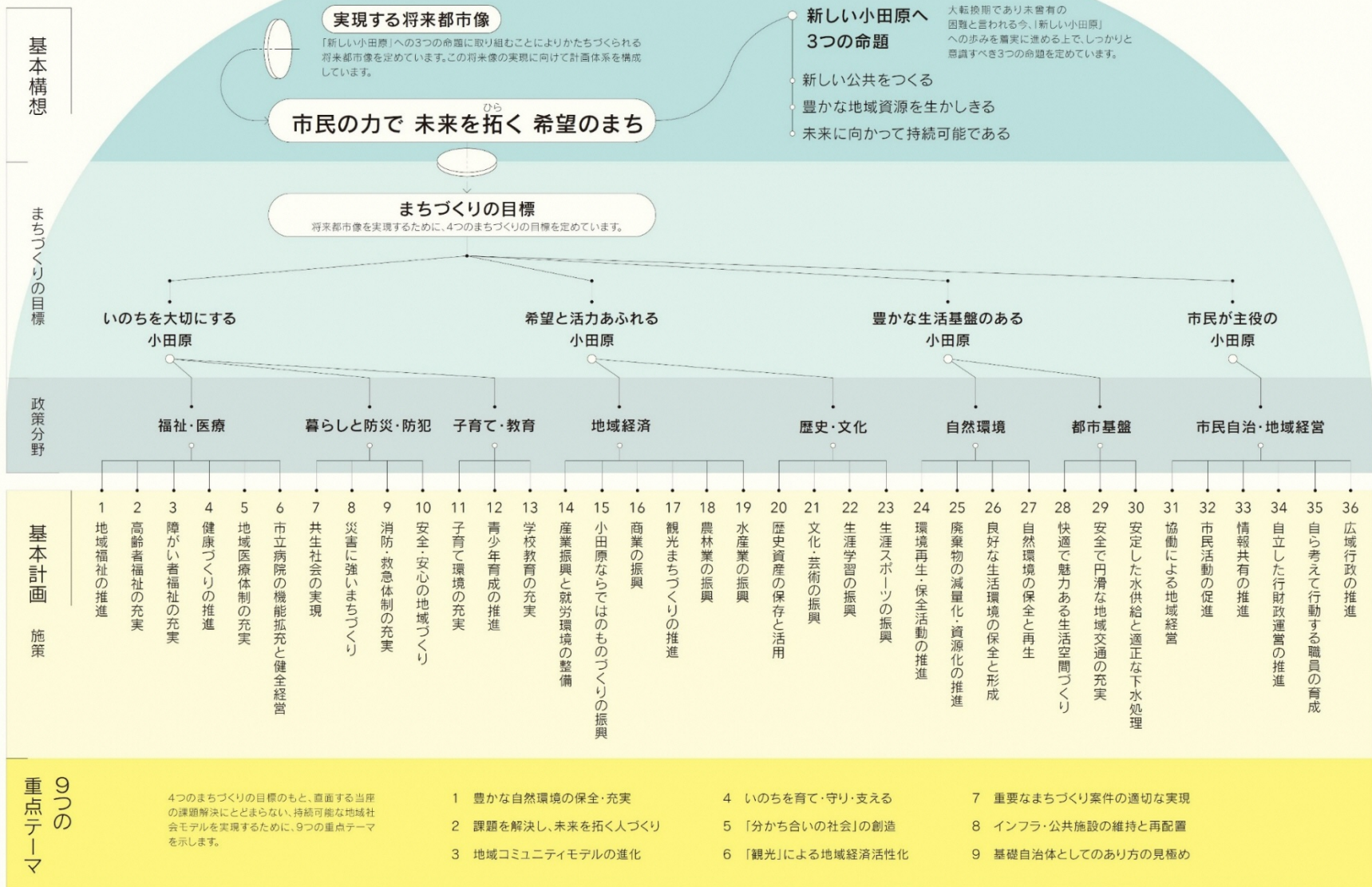
将来都市像の実現と目標の達成に向けたまちづくりの**施策**の方向を体系的に示しています

第3次実施計画

基本計画に基づき、実施する**事業**を具体的に示しています

おだわらTRYプランの体系

おだわらTRYプランの体系



おだわらTRYプランの全文は、小田原市公式サイト(<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>)でご覧いただけます。
 (「小田原市公式サイトトップ」→「市の取り組み」→「総合計画」)

小田原市が目指す「持続可能な地域社会モデル」

- いのちを支える豊かな自然環境がある
- 自然と共存し人々が手を携えていく意識と力を持つ人間が育っている
- 基礎的な社会単位である地域コミュニティの絆が結ばれている
- 人が生まれ、育ち、暮らし、老いていく、その営みを、社会全体が敬意を持って支えている
- 喜びも苦しみも、みんなで分ち合う文化や仕組みを、社会として共有している
- 地域の資源を生かした、地に足の着いた経済活動が根付いている
- 暮らしや経済を支えるさまざまな社会資本は、計画的にメンテナンスが施され危ない状態にある
- 地域の運営をつかさどる基礎自治体は、地方政府と呼べる総合力と、市民一人ひとりへの細かな配慮を併せ持っている

おだわらTRYプラン（取組例）

福祉・医療分野



ケアタウン構想の推進



おだわらTRYプラン（取組例）

暮らしと防災・防犯分野



平和施策・学校訪問懇話会



おだわら TRYプラン (取組例)

子育て・教育分野



□ □ □ □ □ □ □ □ (□ □ □ □ □ □ □ □)

あれこれ体験 in □ □



地域経済分野



小田原地下街「ハルネ小田原」オープン



□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

おだわらTRYプラン（取組例）

歴史・文化分野



遺跡の発掘調査(□□□□□)



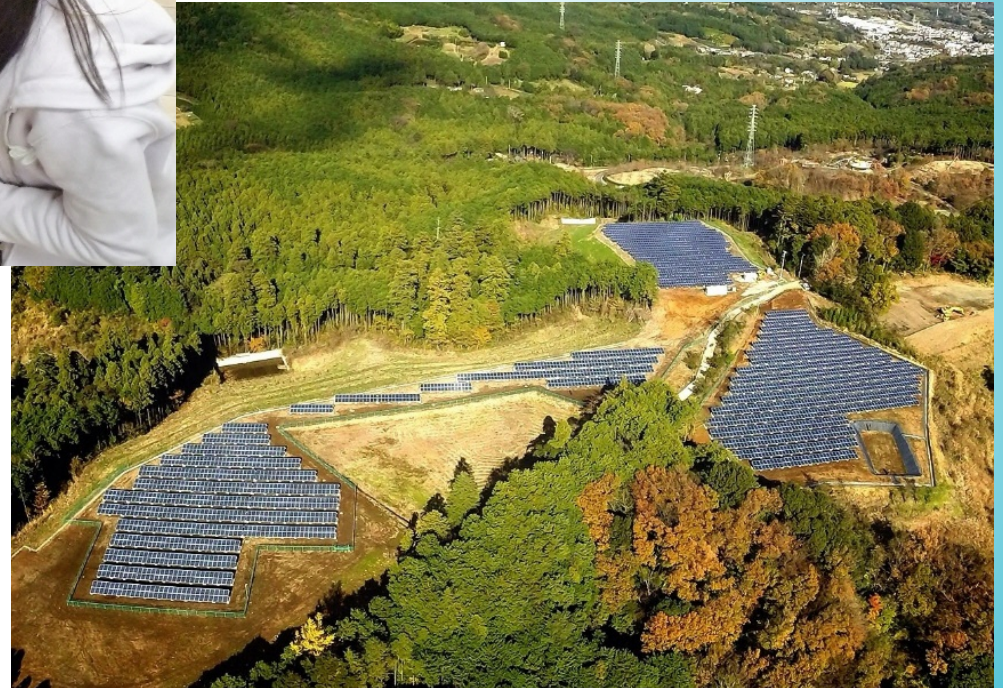
□□□□□□□□□□□□□□

おだわらTRYプラン（取組例）

自然環境分野



段ボールコンポストの普及



おだわらTRYプラン（取組例）

都市基盤分野



お城通り地区再開発事業



おだわらTRYプラン（取組例）

市民自治・地域経営分野



市民と市長の懇談会「まちカフェ」



おだわらTRYプラン 策定プロセスにおける市民参画

TRYプランの策定プロセス（課題）

策定プロセスの課題は、公募型市民参加手法の限界、市長マニフェストの反映、職員の関わり

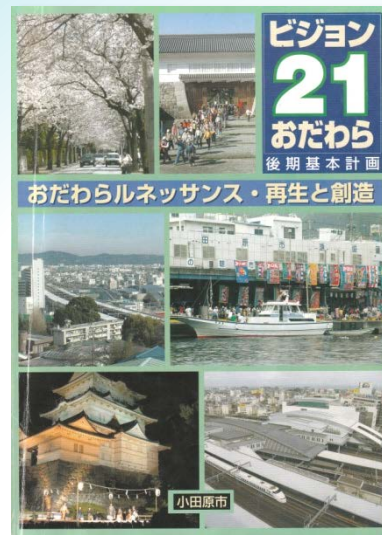
ビジョン21おだわら
（前期 1998~2004）



小田原市総合計画
市民百人委員会

市民と職員と一緒に議
論しながら計画案を作成

ビジョン21おだわら
（後期 2005~2010）



「ビジョン21おだわら」
市民提言会議

計画に対する提言書を市民
自らが作成し、市に提出

【策定プロセスの課題】

- 公募型市民参加手法の限界
 - ・参加する市民が限定されがち
 - ・参加者の意見は市民を代表するのか
- 市長マニフェストの反映
 - ・本格的な市民参加による計画策定
 - ・地域ごとのまちづくり計画を策定
- 職員はどう関わるのか
 - ・作業が特定の職員に偏る
 - ・作業における職員のやらされ感

TRYプランの策定プロセス（取組の考え方）

TRYプラン策定プロセスを、市民と行政の協働の土台づくりと捉え、市民参画等の取組を展開

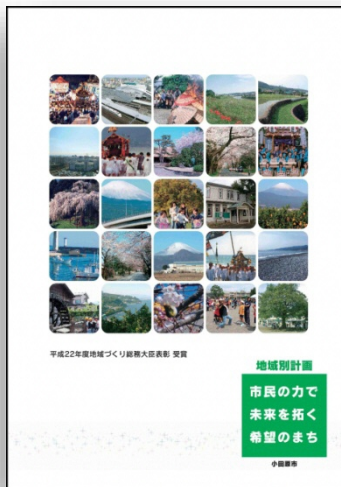
総合計画・地域別計画の策定プロセス

全面的な市民参画と職員の主体的関与により、
実現する地域の姿を描く

第5次総合計画
おだわらTRYプラン



地域別計画
(25地区)



持続可能な
市民自治の
まち

||

高い問題
解決能力を
持つ

自分たちの問題を、誰もが当事者となり、力を合わせて、創造的かつ本質的に解決する

総合計画策定プロセスと並行した協働の取り組み

市民と職員の協働を徹底的に育てる

TRYプランの策定プロセス（協働の考え方）

小田原市自治基本条例で、市民力、協働、市民自治を定義し、まちづくりのルールを定めた

市民力

私たちのまちを、より良くしたいという思いから、市民が自ら考え、行動する力

協働

お互いの立場を大切にして、役割や責任を分かち合いながら、それぞれの力を存分に出し合ったり、協力しあったりすること

市民自治

私たちのまち、小田原は、まちに暮らす全ての人や団体、事業者の「市民力」を生かし、みんなが「協働」する自治、すなわち、「市民自治」を推進

TRYプランの策定プロセス（取組概要）



住民が主体となったまちづくりを目指すため、25の地区自治会連合会の区域ごとに、地域の皆さんが話し合い、知恵を出しあって、地域の将来像や自ら取り組む活動などをまとめた。自治会役員を中心に地域に関わりの深い各種団体役員など、約750名が参画。



サイレントマジョリティの声を掘り起こすため、無作為抽出で選ばれた市民による討議会を開催する新しい市民参画手法を導入。約3,000人に招待状を出し、約200人の方が参画。8分野65テーマについて生活者の視点からアイデア出しを行った。



シナリオ・プランニングでは、本市が歩む可能性があるプロセスを施策ごとに複数のストーリーとして描くなど、多くの職員が担当の枠を越えて対話し、視野を広げて計画づくりに携わった。

おだわらTRYプラン(前期基本計画)の策定プロセス

地域別計画の策定

TRYプランの策定プロセス（地域別計画の策定）

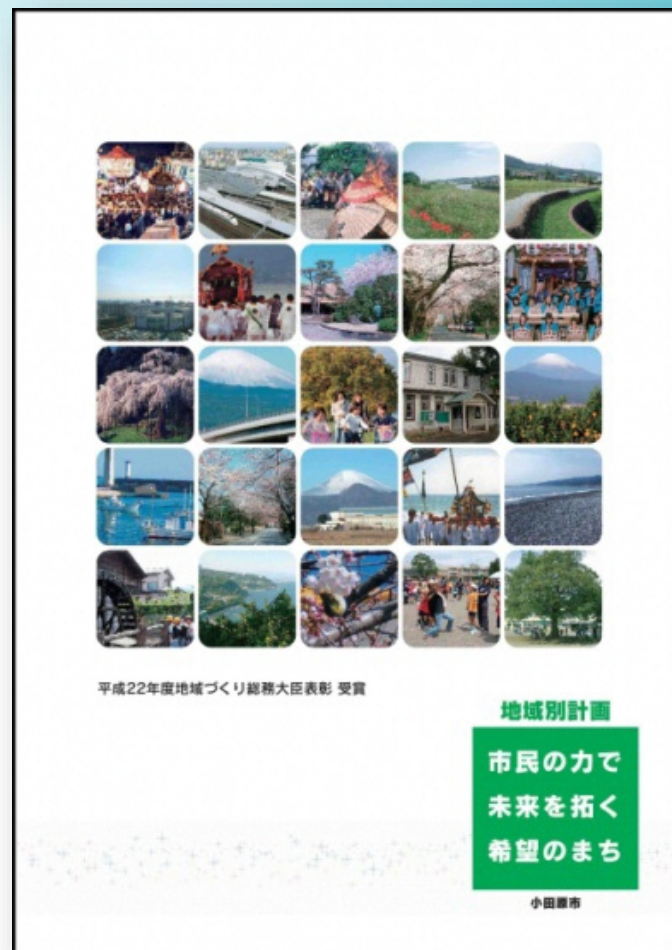
総合計画と一体となり、地域住民主導のまちづくりを進めて行くための地域別計画を策定

【地域別計画とは】

25の地区自治会連合会の区域ごとに、地域の目指す姿の実現に向け、地域が抱える課題の解決や地域資源を最大限活用した取組などを示す

【策定の趣旨】

市民一人ひとりが身近な地域のまちづくりについて考え、主体的に関わりを持つことで、地域固有の課題を解決するうえでの担い手が地域のなかで育成されるとともに、地域住民の総意と工夫による住民主導のまちづくりを目指す。



TRYプランの策定プロセス（地域別計画の策定）



久野
子育てにやさしい久野



富水
水と緑
みんながふれあうまち 富水



桜井
尊徳の教えが
生きているまち



豊川
友愛のまち 豊川
～相俣り相扶け～



曾我
緑と歴史遺産を誇り、
富士を仰ぐ長寿の里
“曾我”



上府中
上府中 みんなで起こそう
地域の和



芦子
人と伝統と発展が
融合するまち 芦子



二川
伝統が息つき、
交流と活力のあるまち 二川



東富水
青い空 水と花と
みんながあつまるまち 東富水



下曾我
梅がほる歴史の郷 下曾我



橘北
歴史溢れる長寿の里
たちばな北



大窪
歴史と文化遺産が薫り、
自然と環境に囲まれたまち
大窪



緑
小田原の“かお”
歴史と文化のまち“緑”



二川
酒匂・小八幡



国府津
人と海と山の織りなす
小田原の東玄関 国府津



前羽 (橘南)
海と山に囲まれ、昔の風情
が残る住みよいまち 前羽



早川
自然（海・山・川）の恵みを大切に!!
笑顔で広げる人の“和”はやかわ
いつでもこれからも住み続けたい、
だれもが安心して暮らせる
自然と歴史文化が調和したまち



幸



早川



新玉
深めよう!!安心、安全、地域
のふれあい みんなでつくろう
誇りのもてるまちづくり



足柄
住んでみたい
住んでよかった 足柄



下府中
小田原の中核として発展し、
みんな仲良く生き生きと
暮らせる町、下府中



片浦
海と山・四季の香り漂う 片浦



十字
歴史と文化のいぶきの中で
みんなで創ろう豊かなまちを



片浦



万年
旧き良き伝統のまち 万年



山王網一色
潮風の香る地域づくり



酒匂・小八幡
住んでいることに誇りがもて
住みたくなるまち、
酒匂・小八幡



TRYプランの策定プロセス（地域別計画の策定）

地域別計画の策定手順、手法等については、地域ごとに、検討組織を設置してから、その組織において決定

地域別説明会の開催

地域まちづくり検討委員会設置

地域の現状・課題の把握

地域のまちづくり将来像の検討

地域の自主的な活動展開の検討

地域別計画試案の策定

地域内における検討

地域別計画素案の策定



2009.4

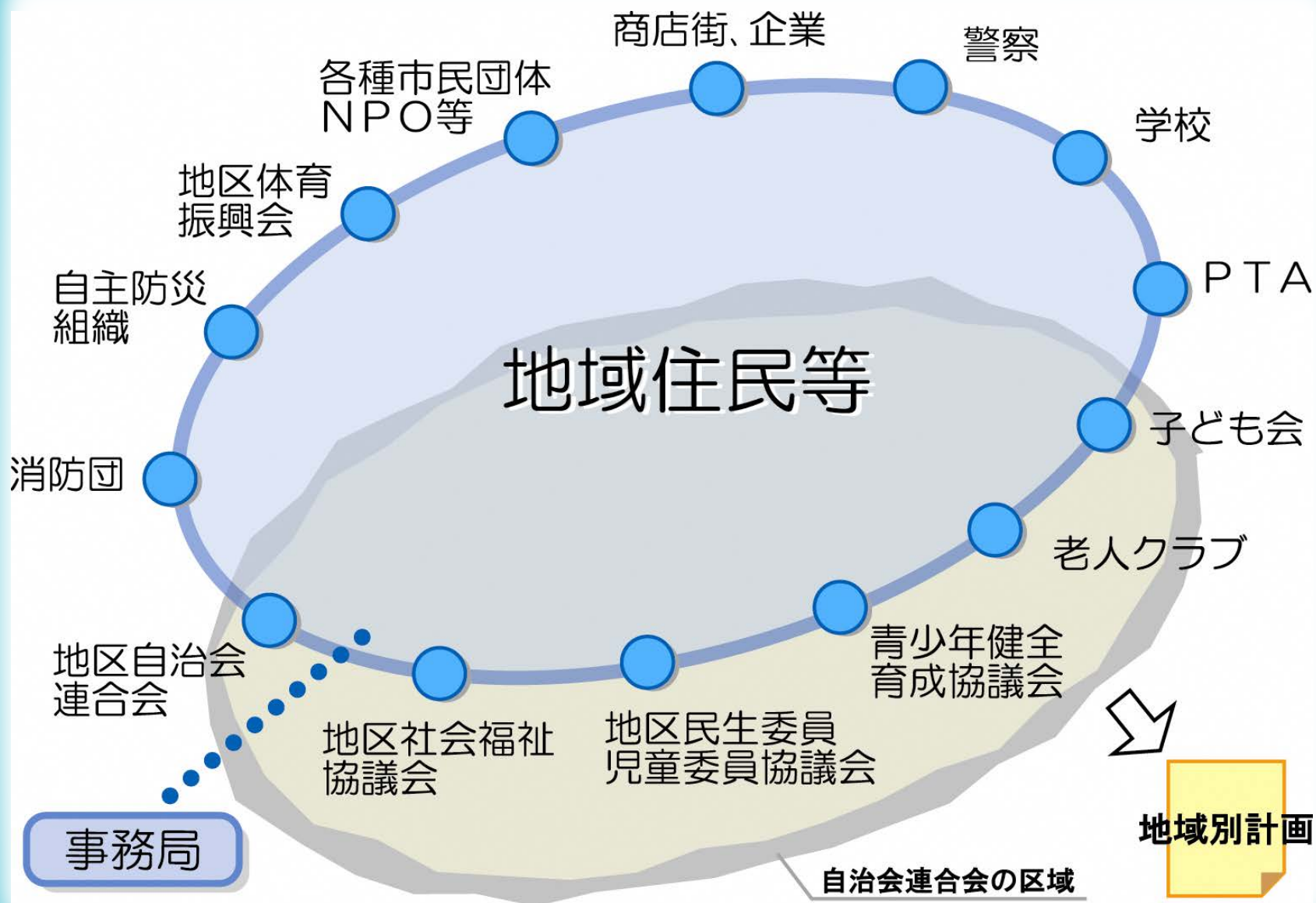
.5

.9

2010.3

TRYプランの策定プロセス（地域別計画の策定）

【地域まちづくり検討委員会】



TRYプランの策定プロセス（地域別計画の策定）

地域別計画を踏まえ、各地域コミュニティの主体的な取組が多様な領域で展開されている



あいさつ運動

□ □ □ □



□ □ □ □ □ □ □ □



□ □ □ □ □ □



□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □



□ □ □ □ □ □ □ □

おだわらTRYプラン(前期基本計画)の策定プロセス

おだわらTRYフォーラム

TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

おだわらTRYフォーラム(無作為抽出で選ばれた市民による討議会)を開催し、その内容を総合計画に反映

【おだわらTRYフォーラムとは？】

市民、各種団体、行政がそれぞれの立場や役割に応じて、様々な市政テーマについて意見を表明する本市独自の市民参画手法

【おだわらTRYフォーラムの特徴】

参加する市民を無作為抽出で選出します
参加する市民に報酬をお支払いします
複数からの情報提供を行います
討議は参加する市民が主体的に行ないます

【討議結果の計画への反映】

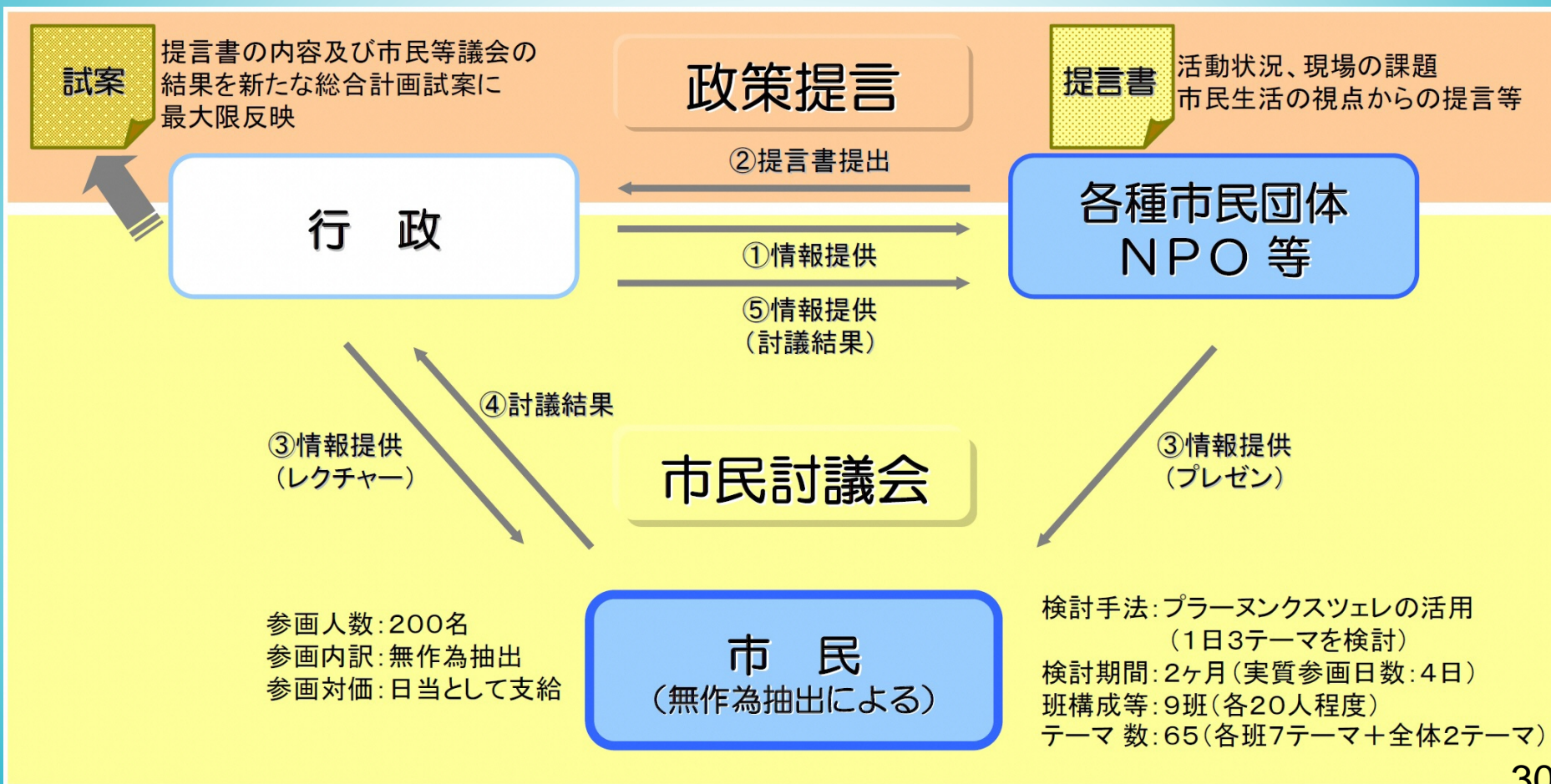
討議の結果は、可能な限り総合計画に反映するとともに、ホームページ等により広く公表



TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

市民、活動団体、行政がプランニング・セルの手法によりテーマについて議論

【おだわらTRYフォーラムの構成】



TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

TRY おだわらTRYフォーラム 討議テーマ 一覧

【おだわらTRYフォーラム討議テーマ】

高齢・社会

1	期待しています 高齢者のご活躍	地域や各世代の市民の皆さんが、高齢者のご活躍を期待している点が何よりです。どのような活動が、高齢者の皆さんにとって有意義なものであるか、ご意見を伺いたいです。	高齢介護課 (32-1841)
2	障害者の活動の輪を広げよう	障害者が社会的活動に参加し、充実した日常生活を送ることができるようになるために、市や地域に期待されている取り組みは何かですか。	障害福祉課 (32-1467)
3	障害者が就労できる環境を整えよう	障害者の就労を支援するためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	障害福祉課 (32-1467)
4	たばこの害から子どもを守ろう	子どもがたばこを吸い、子どもを吸わせること、また、たばこを吸うこと、ご意見を伺いたいです。	健康づくり課 (43-0225)
5	市民の健康を守りたい	安心して健康な毎日を送るために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	健康づくり課 (43-0225)
6	かかりつけ医を持つ	みなさんの健康を身近で見守るかかりつけ医を持つことが、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	健康づくり課 (43-0225)

環境・防災

7	みんなでつくり安全・安心のまちづくり(交通・防災)	地域における道路・交通安全事故を防止するために、事業者、地域、そしてみなさんには何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	暮らし安全課 (32-1322)
8	駅周辺の放置自転車をなくそう	駅前や駅周辺の放置自転車をなくすために、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	暮らし安全課 (32-1322)
9	本当に必要な防災訓練について考えてみよう	災害発生時に迅速に避難する必要があるため、市民の防災意識を高めるために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	防災対策課 (32-1622)
10	防災に関する情報を共有しよう	防災について、皆さんがもっと知りたがると思う情報、知能はどのようなものですか。	防災対策課 (32-1622)
11	ごみを減らそう	ごみを減らすために、市民、事業者が出来ることは何かですか。	環境政策課 (32-1422)
12	ごみの分別をさらに進め、資源を有効利用しよう	燃焼のごみに含まれる資源の分別をさらに進めるために、市民、事業者が出来ることは何かですか。	環境政策課 (32-1422)
13	もったいないの輪を広げよう	ものを無駄にせず有効活用するためのアイデア(不用品の再利用)を広げるために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	環境政策課 (32-1422)
14	ポイ捨てのないまちにしよう	ポイ捨てのないまちにするために、市、地域、市民が出来ることは何かですか。	環境政策課 (32-1422)
15	大切な人を救う力を身に付けよう	25多くの市民に救命講習を受講してもらいたい。市民の救命力を高めるために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	警防課 (42-4415)
18	火災のないまちづくりを目指す	住居火災を減らし、さらに被害を最小限にするためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	予防課 (42-4415)

子育て・教育

17	安心して、楽しく子育てをするために Part1	地域で子育てが楽になる環境を整えるためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	子育て支援課 (32-1422)
18	安心して、楽しく子育てをするために Part2	子どもと一緒に外出しやすい環境づくりを進めるためには、今、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	子育て支援課 (32-1422)
19	地域ぐるみで子どもの教育を進めよう	子どもたちの成長を支援・地域・学校が連携・協力して進めるためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	教育推進課 (32-1422)
20	積極的「食育」に取り組もう	子どもたちに食に関する大切さを伝えるためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	学校教育課 (32-1422)
21	働くことの大切さを教えよう	大変な仕事を子どもたちに教える大切さを伝えるためには、私たちが大人(市、学校、地域、家庭)で出来ることは何かですか。	教育推進課 (32-1422)
22	「おだわらが大好き！」なおだわらっ子を育てよう	多くの子どもたちが小田原への誇り、愛を持ってもらうためには、家庭、地域、学校、市が取り組むことは何かですか。	教育推進課 (32-1422)
23	理想の教師像について考えてみよう	今、求められている理想の教師像とは、どのようなものか、ご意見を伺いたいです。	教育推進課 (32-1422)
24	健全な青少年を育てよう	健全な青少年を育成するために、市や地域にはどのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	青少年課 (32-1722)
25	子どもたちを見守ろう	放課後や休日など、子どもたちが集える場所をつくるためには、市や地域にはどのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	青少年課 (32-1722)

地域経済

26	こころなれいいな 小田原の商店街	小田原の商店街にみなさんで期待することは何かですか。	産業政策課 (32-1522)
27	十郎梅のブランド向上を進めよう	小田原オリジナルブランド十郎梅の知名度を上げ、市民や観光客による消費拡大につなげるために、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	農政課 (32-1467)
28	農業を通じた都市住民との交流を広げよう	農業体験など、多くの都市住民との交流機会を創出させるためのアイデアはありますか。	農政課 (32-1467)
29	もっと海岸を楽しんでみませんか？	小田原は美しい海岸線を持つ海のまちです。この海岸線を活かした取り組みはありますか。	水産資源課 (32-4227)

30	文化芸術活動への市の取り組みを考えてみよう	市民の文化芸術活動を活性化するために、市では何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	文化芸術課 (32-1702)
31	小田原文化って何だろう	守り育て、次の世代に継承して小田原文化とは、どのようなものか、ご意見を伺いたいです。	文化芸術課 (32-1702)

歴史・文化

32	城址公園の好きなところ教えてください	みなさんは城址公園のどこに魅力を感じますか。	観光課 (32-1521)
33	多くの人が訪れるまちにしよう	小田原の観光資源として、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	観光課 (32-1521)
34	生涯学習の振興における協働を考えてみよう	生涯学習をさらに発展させるために、市や市民が連携して取り組むことは何かですか。	生涯学習課 (32-1721)
35	二宮尊徳のことをもっと知って欲しい	市民の皆さんが「二宮尊徳」の考えや功績を知り、まちづくりに活かすためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	生涯学習課 (32-1721)
36	スポーツで汗を流そう	日常的に市民がスポーツを楽しむようにするために、市が期待する取り組みは何かですか。	スポーツ課 (32-1142)
37	生活に欠かせない図書館であるために	市民にとって身近な図書館であるためには、図書館に期待するサービスは何かですか。	図書館 (42-7000)
38	「本が好き！」で語る子どもに育てよう	子どもたちが読書習慣を身に付けるために、家庭、地域、学校、市が出来ることは何かですか。	図書館 (42-7000)

自然環境

39	生きもの多様性による地域内循環を進めよう	生きもの多様性による地域内循環を積極的に取り進めるために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	環境政策課 (32-1422)
40	STOP！地球温暖化	私たちは地球のために、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	環境政策課 (32-1422)
41	身近な自然環境を大切にしよう	それぞれの地域が持つ自然の魅力をどのように活かせるか、ご意見を伺いたいです。	環境政策課 (32-1422)
42	小田原の森林をもっと身近に感じてみよう	小田原の豊かな森林を身近に感じてもらうためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	農林課 (42-1421)
43	緑あふれるまちで暮らそう	緑あふれるまちづくりを進めるためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	みどり公園課 (32-1322)
44	身近な公園を見よう	地域の、身近な公園を積極的に活用・活用するために、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	みどり公園課 (32-1322)
45	公園って色々なことができそうと思いませんか？	みなさんの身近な公園で、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	みどり公園課 (32-1322)
48	川をもっと身近に感じよう	身近な川を親しみ、大切に守る市民の意識を高めるためには、どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	河川課 (32-1222)

都市基盤

47	魅力あふれる小田原駅前	「こんな駅前、素敵ですね」と多くの市民が小田原駅周辺を誇れるのではありませんか。みなさんのご意見を伺いたいです。	企画政策課 (32-1322)
48	公共交通機関を利用しよう	公共交通機関の利用者が減少し、路線の維持が難しくなっていますが、市民の公共交通機関の利用を促すためには、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	都市政策課 (32-1321)
49	自転車であちを走ってみませんか？	皆さんが健康にやさしい移動手段として、自転車をもっと利用しやすくなるために、市が取り組む必要のある取り組みは何かですか。	都市政策課 (32-1321)
50	街なかに住んでもらうにはどうしたらいいでしょうか？	みなさんのご意見を伺いたいます。	まちづくり推進課 (32-1322)
51	小田原らしい景観を守り、育て、活かそう	小田原らしい景観として、どのような景観資源や景色、まちなみを創出し、活用・活用したいですか。	まちづくり推進課 (32-1322)
52	みんなで守ろう おだわらの道	地域住民の手による身近な道の維持管理を実現するためには、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	施設管理課 (32-1321)
53	もっと知って欲しい！公共下水道の効果	公共下水道が生活・産業の発展に大きく役立つことを多くの人に知ってもらうためには、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	下水道課 (32-1222)
54	「おだわらの水産もって飲もう	小田原の美味しい水産物をもっと多くの人に食べてもらうためのアイデアはありますか。	水産資源課 (32-1222)

地域経済

55	市政に声を届けよう	市民の声を市政の発展や市民生活の向上につなげるために、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	広報広聴課 (32-1241)
56	農産物地産地消の取り組みを推進しよう	小田原市は農産物産地において、今後どのような取り組みが必要か、ご意見を伺いたいです。	企画政策課 (32-1322)
57	地域の期待に応えられる市職員であらいたい	暮らしやすい地域づくりを実現するために、市職員に期待していること、市民が求めることは何か、ご意見を伺いたいです。	総務課 (32-1241)
58	ITを活用した行政サービスを展開しよう	IT(情報通信技術)の活用による行政サービスの向上を実現するために、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	情報システム課 (32-1242)
59	ご近所の顔見知りを増やそう！	いざという時に、互いに助け合える関係性を築くためには、市や事業者には何が出来るか、ご意見を伺いたいです。	地域政策課 (32-1427)
60	もっと気軽にボランティア活動に取り組んでみよう	多くの市民がもっと気軽にボランティア活動を行えるような仕組みを考えてみましょう。	地域政策課 (32-1427)
61	自治会について考えよう	自治会の加入率や率々下がっている理由は何だと思いますか。	地域政策課 (32-1427)
62	地域センターを利用しよう	地域センターを、「おきき」・「より多く」利用してもらうためのアイデアはありますか。	地域政策課 (32-1427)
63	あなたの「貴重な1票」を持って選挙へ行こう	皆さんの「貴重な1票」が選挙の公正を確保し、まちを良くするために役立ちます。	選挙管理委員会 (32-1722)

TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

【討議の流れ】



情報提供(30分)

参加者の討議(40分)

発表と投票(25分)



TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

討議に参加する市民の男女・年代別構成を、小田原市の人口構成に近づける工夫(招待状の段階発送)

【小田原市の年齢別人口と参加者の比較】

小田原市における年齢別人口と「おだわらTRYフォーラム」参加者との比較

平成20年1月1日現在

年齢	総数	人口構成比(対A)	対構成比定数	実数	男	人口構成比	対構成比定数	実数	女	人口構成比	対構成比定数	実数
0～4	8,020 人	4.04%	0 人		4,055 人	2.04%	0 人		3,965 人	2.00%	0 人	
5～9	9,077 人	4.57%	0 人		4,669 人	2.35%	0 人		4,408 人	2.22%	0 人	
10～15	11,191 人	5.63%	0 人		5,730 人	2.88%	0 人		5,461 人	2.75%	0 人	
16～19	7,799 人	3.92%	9.15 人	18 人	3,970 人	2.00%	4.66 人	5 人	3,829 人	1.93%	4.49 人	13 人
20～29	21,993 人	11.07%	25.81 人	36 人	11,014 人	5.54%	12.93 人	16 人	10,979 人	5.53%	12.88 人	20 人
30～39	28,662 人	14.42%	33.64 人	34 人	14,696 人	7.40%	17.25 人	16 人	13,966 人	7.03%	16.39 人	18 人
40～49	26,160 人	13.17%	30.70 人	29 人	13,516 人	6.80%	15.86 人	15 人	12,644 人	6.36%	14.84 人	14 人
50～59	28,567 人	14.38%	33.53 人	37 人	14,252 人	7.17%	16.73 人	23 人	14,315 人	7.20%	16.80 人	14 人
60～69	27,142 人	13.66%	31.85 人	27 人	13,098 人	6.59%	15.37 人	14 人	14,044 人	7.07%	16.48 人	13 人
70～79	19,550 人	9.84%	22.94 人	15 人	8,877 人	4.47%	10.42 人	6 人	10,673 人	5.37%	12.53 人	9 人
80～89	8,799 人	4.43%	10.33 人	4 人	3,150 人	1.59%	3.70 人	4 人	5,649 人	2.84%	6.63 人	0 人
90～99	1,713 人	0.86%	2.01 人	0 人	423 人	0.21%	0.50 人	0 人	1,290 人	0.65%	1.51 人	0 人
100歳以上	34 人	0.02%	0.04 人	0 人	10 人	0.01%	0.01 人	0 人	24 人	0.01%	0.03 人	0 人
不詳	134 人	0.07%			88 人	0.04%			46 人	0.02%		
除く不詳(A)	198,707 人	100.00%			97,460 人	49.05%			101,247 人	50.95%		
総数(B)	198,841 人				97,548 人				101,293 人			
TRY対象者	170,419 人	85.76%	200.00 人	200 人	83,006 人	41.77%	97.41 人	99 人	87,413 人	43.99%	102.59 人	101 人

TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

TRYフォーラムにより、サイレント・マジョリティの掘り起こし、市民の主体的な討議、職員の質の向上を実現

○ サイレントマジョリティの掘り起こし

- ・参加者の7割が、それまで市の取り組みに関わったことのない方
- ・参加者の8割が、総合計画を知らなかった

○ 参画した市民の主体的な討議

- ・振り返りでは、小田原が好きという人、誇りと愛着を持っている参加者が多かった
- ・行政批判をはじめとした否定的な議論がなく、自分達でできることの議論も展開
- ・市民活動団体と市民との接点の機会
- ・想像を超えて、参加者同士の連帯感が生まれていた

○ 職員にとっても貴重な経験

- ・参加した職員（討議補助者）は、生活者の視点での市民の声を聞くことができた
- ・情報提供をした職員は、市民への分かりやすい説明の必要性を認識
- ・参加した市民と職員が一緒に食事をするなど、関係構築につながった

TRYプランの策定プロセス（TRYフォーラム）

【TRYフォーラムエンディング 市長あいさつ(抜粋)】



傍目からは、誰が進行役の職員で、誰が参加者の市民なのか区別がつかない、始まればすぐ議論が始まっている。そして、まとめ役、また、最後のプレゼンテーションに至っては、皆さんどなたも全く堂に入っていて、きちんと主張も発表され、意見も述べられている。

何よりも、全体を通して、この小田原の未来を本当に良くしていこう、自分達ができることをやっていきたいという想いが、本当に皆さんの言葉や会話からあふれていることを感じました。

今を踏まえての色々な声を聞いていても、そういう想いを感じて、市長としても、小田原市民としても誇らしく、ありがたく感じたわけであります。

おだわらTRYプラン(前期基本計画)の策定プロセス

シナリオ・プランニング(職員の主体的関与)

TRYプランの策定プロセス（職員の主体的関与）

総合計画策定における職員の主体的関与手法としてシナリオ・プランニングを実施

各施策の事業計画をより効果的に立てるために各施策ごとに「シナリオ」を作成。ここでいう「シナリオ」は、H23～34年の間に、現状から未来に向けて、どのようなプロセスが歩まれる可能性があるのかを複数のストーリーとして描いたもの。各施策3つ程度のシナリオを描き、どのシナリオを行政が選択するのかを決定し、選ばれたシナリオを参照しながら、事業計画を立てる。

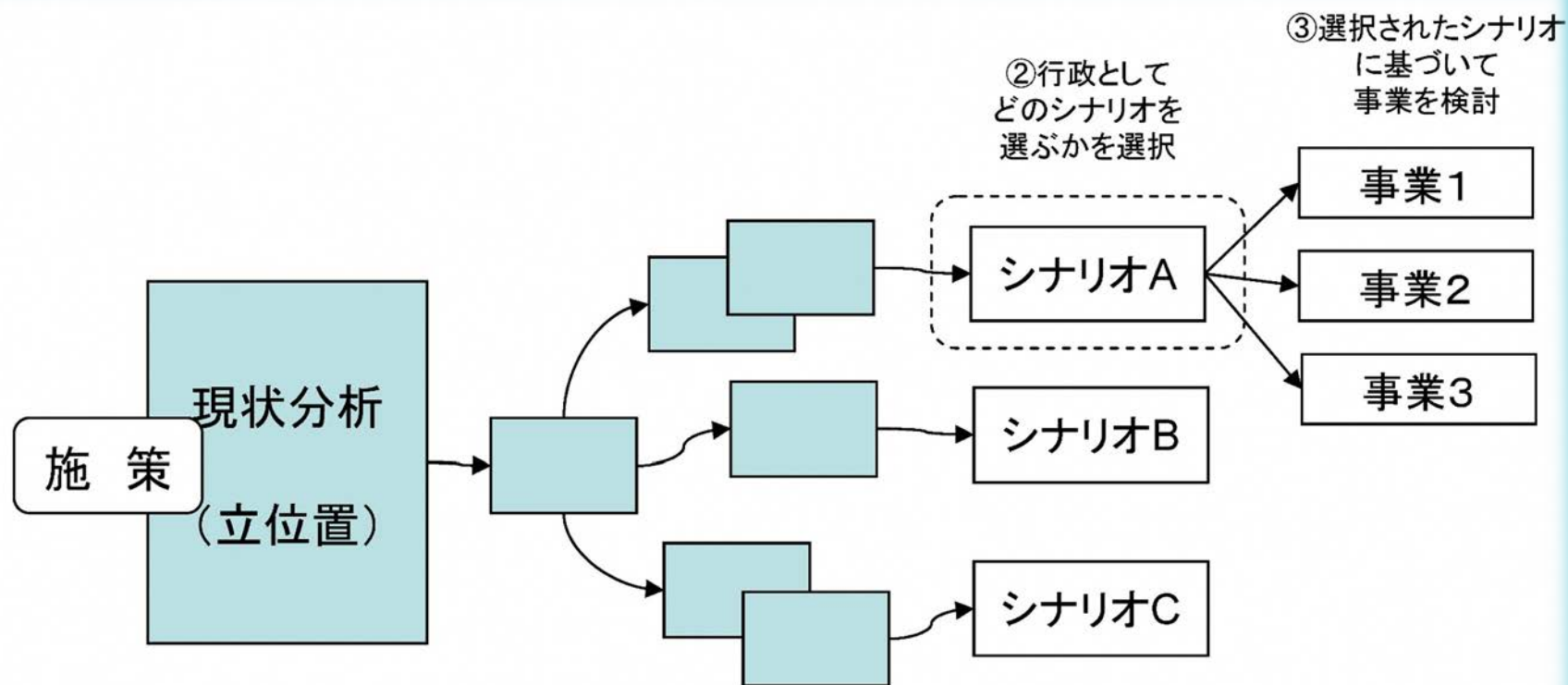
【シナリオ作成の意義】

- ・小田原市の将来に対する市民の意識を高める
- ・小田原市の将来に対する行政職員の視野を広げる
- ・小田原市の将来に対する貢献を自覚する



TRYプランの策定プロセス（職員の主体的関与）

【総合計画策定におけるシナリオ・プランニングの位置付け】



H23 → H34

①計画の施行期間に各施策でどのようなプロセスが歩まれる可能性があるかを複数のシナリオとして検討

TRYプランの策定プロセス（職員の主体的関与）

【シナリオ・プランニングの流れ】



施策ごとにシナリオ準備セッションを開催。シナリオを描く前に、各施策に関連する課の職員が集まり、幅広い視点から対話を行うことによって、各施策（テーマ）を深く掘り下げ、視野を広げるとともに、シナリオを描く素材を得る。延べ436名の職員が参加。



作成されたシナリオのクオリティを高めるため、シナリオノートを庁内に回覧(自由な旅)するとともに、施策全てのシナリオを見ることが出来るシナリオスペースを設け、多くの職員のフィードバックを得る。



シナリオ作成者が、理事者と会場の職員に対して、シナリオの背景やプロセス、行政の関わり方についてプレゼンテーションを実施。特に、未来を描く上での分岐点は何か、誰がどうやってということに着目し、複数のシナリオから行政として1つを選択した。

TRYプランの策定プロセス（職員の主体的関与）

【シナリオ作成例・・・テーマ：市民との情報共有】

理事者プレゼン資料

「市民との情報共有」

- シナリオ発表者 山本圭一・穂坂堅太郎（広報広聴室）
- シナリオ作成者 安藤圭太、長谷川和之、多田功、柏木留美子、遠藤佳子（全員）

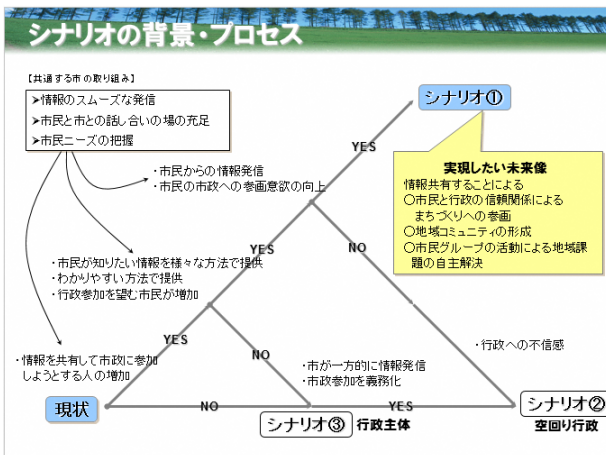
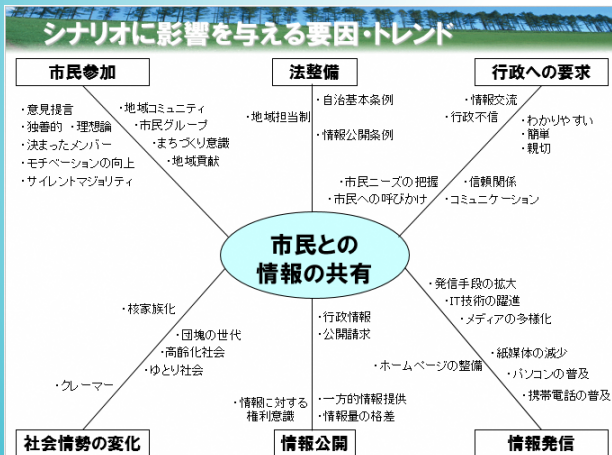
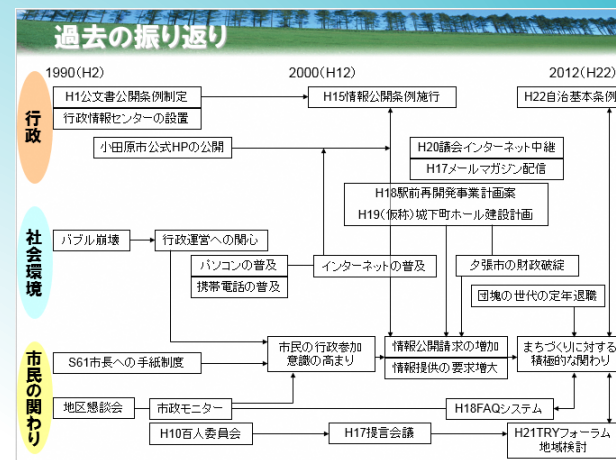
発表日：2009年7月7日

シナリオの概要

- 私たちが施策「市民との情報共有」について作成したシナリオは以下の3つです
 - 「情報を共有して：理想的な市民との協働」
 - 「行政の思いは強いけれど：空回り行政」
 - 「行政からの一方的情報発信：行政主導型」
- この中で、私たちが選択したシナリオは

1. 「情報を共有して：理想的な市民との協働」です

19 これからこのシナリオを作成した背景を共有します・・・



行政の関わり方

- 行政として**
 - 迅速、わかりやすい言葉、優しい検索方法などによる情報の提供
 - 電子情報、文字情報、対話・委員会形式など様々な方法による情報共有
 - 個々に対応すべきケースと通り一遍（一定のマニュアルで）に対応するケースの基準づくり
 - 市民の市政への参画意識を高めるような情報の出し方、受け止め方の工夫、仕掛け作り
 - 地域の課題を共有するための現場主義の徹底
- 市民に対して**
 - 特化した（一部の）市民ではない多くの市民との情報共有・意見交換
 - 個人的な思いではなく、市全体の状況及びニーズを把握しての意見提言
 - 行政が進めていく事業に対して、自分の周りだけ・今だけの評価で判断するのではなく長期的に広い視野で判断してもらえるような土壌づくり
 - ディベートでなくディスカッションが行われるような、対話の場に臨む意識付け

TRYプランの策定プロセス（職員の主体的関与）

【庁内オープン・スペース・ミーティング「開かれた対話・新しい小田原へ」】

シナリオ作成を踏まえ、今後の小田原市をどうしていきたいかを役割や組織の垣根を越えてオープンに話し合うことによって、よりよい小田原の未来を創ることにつなげる。職員139名が参加。参加者が、皆で話し合った方が良いテーマなどを自由に出し合い、各テーマに関心のある人が集い、オープンな話し合いを行う。話し合われたテーマのうち、参加者の関心の高いものについては、改めて全員で話し合いを行い方向性を見出す。



会場受付



オープニング



テーマ出し



セッション登録



セッション I・II



マーケットプレイス



投票



全員で話し合い①



全員で話し合い②



チェックアウト

実践としての無尽蔵プロジェクトの展開

市民・民間がエンジンとなって活性化事業を企画・実施する

人々の希望から
生まれる知恵は
尽きることが無い



公共 ≠ 行政



新しい公共をつくる

地域に関わるすべての人々が
課題解決の当事者として
知恵と力を発揮する。
市民の力・地域の力を核として
行政との協働を育てながら
様々な公共的機能を全体で担う。

豊かな地域資源を
活かすきる

「新しい公共」を
かたちにする



無尽蔵プロジェクト

市民の発想とノウハウで活性化事業を企画・実施する
(行政は側面から支援)



地域経済の活性化と市民活力の向上

推進テーマの設定と推進体制

【連絡調整会議】

推進アドバイザー(1)

コーディネーター(10)

市側事務局
市長
経済部副部長
秘書室
広報広聴課
企画政策課

【推進プロジェクト】

ウォーキングタウン小田原

食の小田原

文学のまちづくり

ものづくり・デザイン・アート

わがまち振興プロジェクト

環境(エコ)シティ

市民による芸術文化創造

小田原ならではの住まいづくり

シネマとライブのまち

小田原スタイルの情報発信



- 1 新たな価値創出につながる**事業領域の設定**
- 2 事業の**担い手としての資質**
- 3 様々な**担い手の組み合わせ効果**
- 4 民ならではの**自由な事業展開**
- 5 公共による**オーソライズ効果**
- 6 公共資源の活用による**立ち上げ支援**
- 7 市職員による**つなぎ効果**
- 8 活動**財源の獲得**

1 新たな価値創出に繋がる事業領域の設定

- 豊富な歴史文化資源、自然環境が、市内の広域にわたって存在
 - 首都圏から近く、多くの来訪客に来て頂けるポテンシャル
その割には、回遊コースや案内表示、つなぐストーリーが不十分
- ⇒ 資源をつなぎ、回遊の楽しさを明確にした、歩いて楽しめる町に



ウォーキングタウン小田原

- 各種木工業や鋳物産業など、伝統的なものづくりが健在するも、昔ながらの意匠や商品領域からなかなか進化できない
 - 一方で、小田原の魅力を感じて、若手の芸術家が小田原に住み始め、また都心から活動拠点を移してきた美術館などが増えている
- ⇒ ものづくりとデザイン・アートの分野をつなぐことで、双方にメリット



ものづくり・デザイン・アート

箱根寄木 アール・デコ
リックに先駆けた和の工芸

2 事業の担い手としての資質

- それぞれの事業領域における活動歴
- 当該分野での活動に関する専門性
- 新しい取り組みに向けた活動意欲
- 事業を組み立てる力量
- 関連各分野へのネットワーク
- 小田原に対する深い郷土愛
- 行政に対する一定の信頼感



然るべき担い手の存在が前提

3 様々な担い手の「組み合わせ効果」

【環境(エコ)シティの場合】

- ① 多彩な自然環境と課題に対応する様々な活動団体が存在(森づくり、河川環境保全、街なか美化、低公害車普及、環境教育、…)
- ② それが一つにまとまり、都市ブランドの形成に向かう市内の16団体が一堂に会し、小田原のより豊かな環境づくりに向け、活動開始
- ③ 互いの活動現場を訪ね「こんな活動があったのか」「こんな熱心な人がいた」と感動
- ④ 手を携え、一緒にできる取り組みの構築に、ものすごいエネルギーが沸きあがった



組み合わせと融合によるエネルギー

4 民ならではの自由な事業展開

- 担い手団体による工夫を凝らした事業展開
 - ⇒ 民ゆえのスピード、柔軟性、幅広いネットワークなど
- 協働であるものの、補助金による活動でない
 - ⇒ 行政サイドの意思決定や要綱に縛られない活動の組み立てが可能
 - ⇒ 事業で得た売り上げや収益は、更に拡大するための原資に利用可能



➡ 公共に縛られず、民の力をしっかり発揮

5 公共による「オーソライズ効果」

- これまでは、団体が個々の手法で活動
（存在感の発揮は団体の既存の手法やネットワークに依存）
⇒ 「無尽蔵プロジェクト」として、市の肝入り事業群に位置付け
⇒ 公式にオーソライズされた意識。注目される中で「やる気」の芽生え



➡ 「オーソライズ効果」で + a の活動意欲

6 公共資源の活用による立ち上げ支援

○ 民間団体活動の蓄積に加え、公共の各種資源を最大限に活用。

⇒ 活動拠点としての公共施設

(「ウォーキングタウン小田原」の清閑亭など)

⇒ 広報手段としての各種媒体の活用

(広報おだわら、HP、パブリシティなど)

⇒ 行政独自の予算事業との連動

(イベント企画など)

⇒ 行政課題との連動による研究活動

(木材強度研究など)

⇒ 行政の推進政策との連動

(「小田原市食育推進計画」との連動など)



「公共」資源は、事業展開のアドバンテージ

7 市職員による「つなぎ効果」

- 新しい領域での連携、具体の事業化は民だけでは難しい
(手が回らない、立ち回りが難しい、調整役が果せない 等)
⇒ 諸団体とつながり、共有できるテーマとスキーム設定、調整を行う役が必要
⇒ この「つなぎ役」を市職員が担い、プロジェクトの成功を支えた。

*この役割を果すには、豊富な経験と
資質、新たな視点
極めて重要



黒子としての職員の活躍が不可欠

8 活動財源の獲得

- いずれの領域における事業展開にも、活動財源の確保は不可欠。
その手法は、大きく以下に分類できる。
- ① 新たな事業によって生まれる売上や収益
…事業テーマが潜在マーケットに合致
- ② 国や県などの事業資金補助を獲得
…事業テーマが公共的事業化ニーズに合致
- ② 実施における民間からの協賛金獲得
…テーマが地域振興への民間意欲と合致
- ④ 事業の一部を市事業で予算確保
…内容が市(行政)の中で位置付け可能



➡ 「小田原市」との協働事業であり、市として注力して取り組む 「無尽蔵プロジェクト」の位置付け



ご静聴
ありがとうございました